



千代田区キャンパスコンソ
Chiyoda Campus Consortium

共同公開リレー講座

ちよだで学ぶ2025—人とまちがつながる、学びの場—

藩政改革 その思想と系譜

- 山田方谷が三島中洲・渋沢栄一に与えた影響について

講師：今井 悠人 准教授（二松学舎大学国際政治経済学部）

開催日時

2025 11 / 8 (土) 13:00 ~ 14:30

会場

二松学舎大学
九段キャンパス3号館 3021教室

江戸時代における藩政改革は、各藩が直面した財政危機を背景として展開されました。本講演では、財政改革の視点から藩政改革の歴史的意義を探ります。特に注目するのは、幕末三大藩政改革の一つとして名高い山田方谷による備中松山藩の改革です。方谷は表高5万石(実高は約1.9万石とも)に対して約10万両の借金を抱えた藩財政を、殖産興業と倭約政策により見事に再建しました。その手法は単なる緊縮財政ではなく、藩札の信用回復、特産品開発による収益増加、商業振興など、総合的な経済政策でした。この方谷の薫陶を受けた三島中洲は、二松学舎大学の創設者として教育事業に邁進する一方、方谷から学んだ実学重視の精神を継承しました。

中洲と親交の深い渋沢栄一もまた、近代日本の金融制度確立に貢献しました。渋沢の「道德経済合一説」は、中洲の「義利合一論」と共通する思想的基盤を持ちます。本講演では、江戸から明治への転換期において、一人の改革者の思想がいかに継承され、近代日本の礎となったかを財政の観点から紹介します。



講師紹介

博士(理学、早稲田大学)。専門は数理ファイナンス、計算ファイナンス。二松学舎大学においてはファイナンス関連科目を担当。漢学や国学に関連する内容についても興味を持ち、江戸期の商家経営および藩政改革や和算についての研究も行う。



受講のご案内

対象：千代田区在住・在勤・在学者及び、
テーマに関心がある方

参加費： 無料

申込方法：申込フォームからお申し込みください。
QRコードまたは次のURLからお申込み
いただけます。

<https://forms.gle/2USewEiCYKRNFaxW8>

定員：100名

申込期間：～11月5日(水)まで

※お申し込みが定員を上回ったときは、
早期に締め切る場合があります。

〔主催・お問い合わせ先〕

二松学舎大学

大学改革推進部
地域・産学連携室

★メールでお問い合わせください。

e-mail：s-renkei@nishogakusha-u.ac.jp